

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

令和5年9月20日 第168号

## 宝塚歌劇を見てきました

東京宝塚劇場に宝塚歌劇を見に行ってきました。星組公演の「1789—バスティーユの恋人たち—」という演目です。私が見に行く約1週間前に主役の方の体調不良により数日休演となっていました。代役の方がすぐにたてられて無事に観ることができました。

観劇前に劇場の前のビルにあるオフィシャルショップを見に行くと、女性で一杯。メインキャストの写真やトートバッグや扇子など数多くの商品が並んでいました。



内容はフランス革命の話でしたが、アニメの「ベルサイユのばら」を全話見ておりましたので、とっつきやすく楽しく観ることができました。歌も踊りも素晴らしいのですが、身のこなしが綺麗だったのが印象的でした。そういえばテレビで見かける元宝塚の方は、皆さん姿勢いいですもんね。最後の大階段からトップスターが下りてくる時にしよっている羽飾りは、想像よりも遥かに大きくて度肝を抜かれました。オーケストラの生演奏も良かったです。

今回驚いたのは、宝塚劇団が本当に良心的なビジネスをしていたことです。チケットの値段もそんなに高くないですし、オフィシャルショップの商品はむしろ安く感じました。あれだけの人数が出演し、稽古中であろう公演をしていない組もありますし、裏方事務方劇場の維持費を考えると、むしろこの値段で経営は大丈夫なのかと心配になりました。



95%以上が女性でした。



まさに鈴なりです。

我が家の畑  
ナスとピーマンはまだ採れています。家庭菜園では冬野菜の準備に入っています。  
人参は種まきを五回やり直して、やっと芽が出てきました。キャベツ、ブロッコリーは綺麗に発芽するものの、小さなうちから虫にやられてしまい、ほとんど畑に植えることはできませんでした。タマネギの種は、芽が出てきたところ  
です。  
パイヤは畑の真ん中に植えましたので、当りがよく順調です。

## 転職入職者が前職を辞めた理由

人材不足のため採用に苦慮する企業も多いところですが、せっかく人を探っても、辞めていく人が減らなければ困難な状況が変わりません。

厚生労働省が公表した「令和4年雇用動向調査結果」によれば、令和4年1年間の離職者(事業所を退職したり、解雇された者)の数は約 765 万人となっています。また、年初の常用労働者数に対する割合である離職率は 15.0%となっています。



前職を辞めた理由については、男女ともに「その他の個人的理由」(男性 19.6%、女性 25.0%)、「その他の理由(出向等を含む)」(男性 14.7%、女性 8.6%)を除くと、「定年・契約期間の満了」(男性 15.2%、女性 10.9%)が最も多く、「労働時間、休日等の労働条件が悪かった」(男性 9.1%、女性 10.8%)、「職場の人間関係が好ましくなかった」(男性 8.3%、女性 10.4%)が続いています。

上記調査でも「個人的理由」とありますが、辞める本当の理由を会社側に明確に伝える例は少ないのではないのでしょうか。

エン・ジャパン株式会社が実施した「就業前後のギャップ」についてのアンケート調査によれば、約8割が、入社前後で「ギャップを感じた経験がある」と回答しており(トップ3は「仕事内容」「職場の雰囲気」「仕事量」)、55%がギャップにより仕事を辞めたことがあるそうです。その中でも「職場の雰囲気」は離職理由のトップとなっており、上記厚生労働省の調査の「職場の人間関係」による理由と重なるところがあります。

今後はそれぞれの企業で何が離職理由となっているのかを考え、企業として可能な取り組みについても検討していく必要があるでしょう。

## 業務改善助成金が拡充されました

社内で最も賃金の低い人の昇給を行う際に、設備投資をすると貰える助成金である業務改善助成金の制度が拡充されました。**時給 963 円以下**の労働者がいる会社が利用可能ですが、**9 月 30 日までの取り組み**が必要です。当事務所ホームページのブログで解説しておりますので、至急ご確認ください。